

地質標本館イベント「ガイドツアー」開催報告

福田 和幸¹

1. はじめに

地質調査総合センター（以下、GSJ）地質標本館において、体験イベント「地質標本館ガイドツアー」（以下、「ガイドツアー」）を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、2019年度以降「体験イベント」の開催自体を自粛していましたが、2023年5月8日、政府によって同感染症が5類感染症に位置づけられたことを受け、実に4年ぶりに再開する運びとなりました。2023年度は、2023年7月27日（木）、同年11月25日（土）および2024年3月9日（土）の計3回ガイドツアーを実施しました。

2. 新たな試みとして実施したガイドツアーの内容と当日の様子

地質標本館では、解説を望まれる平日の団体来館者に向けて、地質標本館解説スタッフによる「展示解説」を行っています。また、特に専門的な解説が必要な場合にはその都度GSJ研究者に依頼して解説を行ってきました。2023年度からのガイドツアーでは新たな試みとして、あらかじめ「地質標本館展示解説登録者」に登録されたGSJの研究者から希望者を募り、自身の研究に近い「テーマ」に沿って、約1時間、館内展示を巡りながら解説・案内してもらいました。このような方針の理由には、近年の団体来館者数の増加に伴い、将来地質標本館所属の解説スタッフだけでは対応しきれなくなることが予想され、展示解説登録者に自主的に協力を頂くことで即応体制が取れると考えられたことが挙げられます。また、地球科学の専門家から一般の方々に発信する機会はまだで、来館者がGSJ研究者と身近に接することができる貴重な機会となり、より地質に興味を持ってもらえる良いきっかけになることを期待して本企画としました。

ここでは2024年3月9日（土）に開催したガイドツアーについて、その様子を報告します。今回の開催では、それぞれ異なるテーマで4人の研究者による計4回のツアーを



第1図 2024年3月9日開催ポスター。

行いました（第1図；第1表）。各テーマの募集定員をそれぞれ10名に限定し、ウェブサイト上での事前予約としたところ、予約開始から一週間ですべてが定員に達しました。

「館内あるいて化石のはなし」の回は利光氏と川邊氏が担当し、タイムトンネルで地球の歴史を新しい時代から古い時代に遡りながら、生痕化石・微化石の重要性、ナウマンゾウ・デスモスチルス・三葉虫など地質標本館内にある化石について解説をしました（第2図）。

「地震と活断層のはなし」の回では、下川氏が地質標本館天井の日本列島周辺の震源分布、津波堆積物剥ぎ取り標本の解説から始まり、プロジェクションマッピングでは地質図と構造線、衛星写真と活断層分布の説明をし、そして東北地方太平洋沖地震の液状化層剥ぎ取り標本について解説をしました（第3図）。

「日本列島をつくった大地のうごき」の回では、宮川氏がプロジェクションマッピングで日本列島を構成する主な地質の説明、プレートテクトニクスと付加体・山地の形成、日本海拡大、火山との関係について解説をしました（第4図）。

¹ 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

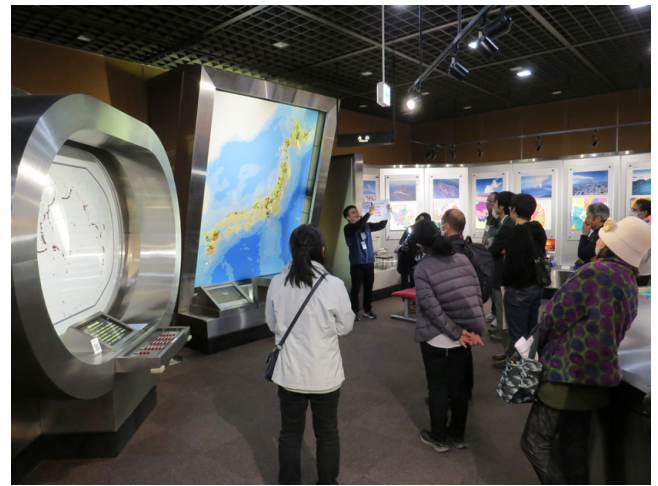
キーワード：地質標本館、体験イベント、ガイドツアー、展示解説登録者

第1表 ガイドツアーの4つのテーマと解説者.

時間	テーマ	解説者
9:45~10:45	「館内あるいて化石のはなし」	利光誠一（連携推進室） 川邊禎久（地質情報基盤センター）
11:15~12:15	「地震と活断層のはなし」	下川浩一（地質情報基盤センター）
13:30~14:30	「日本列島をつくった大地のうごき」	宮川歩夢（地質情報研究部門）
15:00~16:00	「地球の磁石、よもやまばなし」	森尻理恵（地質情報基盤センター）



第2図 「館内あるいて化石のはなし」.



第4図 「日本列島をつくった大地のうごき」.



第3図 「地震と活断層のはなし」.

「地球の磁石、よもやまばなし」の回では、森尻氏がチバニアン期の地層の剥ぎ取り標本を例に、地磁気と千葉セクションとの関係を分かりやすく説明しました。また、参加者には磁鉄鉱をじかに持って重さを実感してもらい、砂鉄を自分で動かしてみるといった体験もしていただきました(第5図)。

参加者アンケートにも、「どの回も分かりやすかった。勉強になった。一時間があっという間だった」、「とても興味深く聞かせていただきました。今まで知らなかったことを分かりやすいお話で学ぶことができました。」「最前線の研究者の方から、生の説明を聞けるのは、本当に面白くて、ありがたいと思いました。」など、高評価の感想を多くいただきました。



第5図 「地球の磁石、よもやまばなし」.

3. おわりに

ガイドツアーを開催するにあたり、各回とも計画段階から実施まで多くの職員の方々にご協力いただきました。ここに御礼を申し上げます。地質標本館ではGSJの研究成果発信や一般地学・地球科学の普及に努めております。アウトリーチ活動に積極的に取り組もうと検討している研究者の皆様、地質標本館のガイドツアーを大いに利用してみてくださいはいかがでしょうか。

FUKUDA Kazuyuki (2024) Report on the Guided Tour of the Geological Museum.

(受付：2024年6月18日)